

資産形成の基本 「貯蓄」と「投資」



お金や暮らしの知恵を学びましょう！

「貯蓄」と「投資」で、計画的な 資産形成を

前号では、人生にかかるお金はどのくらいかの一例をご紹介しました。「思ったよりかかるな」と感じた方もいらっしゃると思います。

自分が将来「こうありたい」というビジョンを実現させるためには、ライフプランを早いうちから考え、長期的な資産形成を計画的に行っていくことが肝要です。

資産形成には主に「貯蓄」と「投資」の方法があります。貯蓄はお金を蓄えることで、銀行の預金などがこれに当たります。投資は、利益を見込んでお金を出すことで、株式や投資信託など、値動

きのある商品を購入することが該当します。

投資にはリスクもあります

株式や投資信託は、価格が変動する商品です。値上がりすれば収益が得られますが、値下がりによって損失を被る可能性もあります。

一方、預金は価格変動がなく、1,000万円までの元本とその利息が保証されるため、安全性が高い商品です。

貯蓄と投資、それぞれの商品の特徴を理解し、例えば、今後の定期収入に不安があれば安全性を重視するなど、自分に合った方法・バランスを選択していきましょう。

貯蓄（貯金・預金）と投資（株式・投資信託）の特徴

	商品名	安全性 元本が減らないか	収益性 利益が期待できるか	流動性 現金に換えやすいか
貯蓄	預金・貯金	◎	△ 金利が低いと増えにくい	◎
投資	株式	△ 値下がりによる 元本割れのリスクがある	◎	○ 一旦売却してから現金に
	投資信託	△～○ 種類により異なる	○～◎ 種類により異なる	○ 同上



投資詐欺に注意

安全性、収益性、流動性、全てが◎の商品はありません。安全性と収益性は両立しないといわれています。うまい儲け話は疑い、安易に応じないようにしましょう。不安があれば、家族や消費者ホットライン(188)に相談を！